

環境ガバナンス

内部監査や環境パトロールなどの実施を通じて環境上の問題がないか定期的に確認し、環境ガバナンスの維持を図っています。

独自内部監査の実施

富士通フロンテックグループでは、ISO14001の要求事項に則り毎年度、独自で内部環境監査を実施しています。内部環境監査責任者の主導の下で年間の監査スケジュールを策定し監査期間前に内部監査員教育を行い内部監査員の力量を確保した上で、監査の対象となる環境組織や順法などの監査を実施しています。

2020年度からは、コロナ禍を契機にテレワークが普及したことから、オンラインによるクロス監査方式を適用し、例えば本社に在籍する内部監査員が新潟工場の組織を監査することで、監査を受ける組織と内部監査員の双方が新たな気づきを得るなどの効果が出ています。

なお、内部監査期間終了後には、その年度の監査結果（改善の機会や良い点）を各環境組織へ水平展開し、自組織に同様の改善すべき事例がないかなど見直しを行っています。

富士通グループ統合内部監査の受査

当社グループは富士通グループISO14001統合認証の組織に該当するため、富士通グループ統合内部監査を毎年度受査しています。同監査は、審査員資格を有した富士通グループ内の内部監査員によって行われるため、システム監査や順法監査において、自社の内部監査だけでは気づけなかった環境上の改善事項などを抽出することで、当社グループの環境活動の向上につなげることが可能です。

2023年度は、不適合に該当する指摘は検出されませんでした。

外部審査の受査

ISO14001認証維持のため、認証機関（株式会社日本環境認証機構様）による外部審査を受査しています。

2023年度は、不適合に該当する指摘は検出されませんでした。

海外グループ会社のガバナンス

当社の環境管理事務局は、グループガバナンスの一環として、当社の海外グループ会社であるFDTPおよびFFNAの環境マネジメントシステム（EMS）の運用状況を監視するため、定期的にEMS資料を入手・確認するとともに、オンライン会議を開催し電気や廃棄物、化学物質などに関する環境目標の進捗状況などをヒアリング・確認しています。

環境パトロールの実施

当社の本社・東京工場では、毎年6月の環境月間に合わせ、事業所内の環境関連施設・設備（廃棄物置き場、化学物質保管庫、騒音発生施設など）が法令に基づき適切に運用されているか、安全衛生の面で問題がないかなどを確認するため、環境管理事務局と総務部のメンバーを中心に環境パトロールを実施しています。

また、当パトロールの中で問題が検出された場合は、該当施設・設備の管理部門が是正を行い、事務局がその内容を確認しています。



環境パトロールにおける環境施設・設備の点検

順守義務一覧表の作成および順守評価

当社では拠点ごとに、保有する環境関連施設・設備や化学物質取り扱い業務、拠点から排出される廃棄物などに適用される法令・条例などの要求事項を登録した「順守義務一覧表」を作成し、社内への周知を行っています。

また、順守義務一覧表の内、順守状況の確認が必要な要求事項について四半期に1回の頻度で順守評価を実施し、対応に漏れがないかなどレビューしています。

法的有資格者の育成・拡充

当社の新潟工場などの一部拠点では、事業運営上などの理由で環境法令・条例に該当する施設・設備（騒音発生施設や屋外貯蔵所など）を有することから、法令順守はもちろん、力量を有した人員の確保を目的に、各拠点において公害防止管理者や危険物取扱者など必要な法的有資格者の育成および資格保有者の拡充に努めています。